

國島市長に問う!!

12月11日、12日、13日の3日間、15人の議員が市政全般について質問しました。



※本会議などの様子は、市議会のホームページ・ヒットネットTVでご覧いただけます。
(インターネットでは、当日の生中継のほか録画配信により、閲覧することができます。)
<http://www.city.takayama.lg.jp/gikai/1002453/1004843/index.html>



高山市議会公明党
山腰恵一議員

通学路の安全対策の 拡充を図れ!

福祉施策について

問 発達障がい児を育てた経験を持ち、相談に応じサポートをするペアレント・メンターの養成の考えは。

答 発達障がいの特性を理解し適切な対応をするための知識や方法を学ぶ、ペアレント・トレーニングの普及促進により並行して促進されていく。

安心・安全な学校生活 活について

問 西小学校周辺の通学路における安全対策「ゾーン30」の整備効果の検証は。

答 速度抑制が図られ、交通事故も無く、近隣住民や学校関係者から通学路の安全が高まったとの一定の評価がある。

った。

問 他小学校区への「ゾーン30」の拡充が必要と考えるが。

答 安全・安心のために拡充は必要と考えるため、県へ要望する。

問 全国で、通学カバンが重過ぎるとの声があり、健康への影響が懸念されるが。

答 カバンが重いという原因で、腰痛や脊椎の歪み肩こりなど健康被害が生じないよう健康面の対策は重要と考える。

問 文科省から児童生徒の携行品に係る配慮についての通知を受けて市の対応は。

答 各学校で教材等を置いていっても良い物を確認して対応を進めている。



高山市議会公明党
中箴博之議員

高山を天文の聖地 に!

高山を天文の聖地に

問 飛騨天文台の協力をいただきながら、天文ファンを国内外から呼び込んで、高山を「天文の聖地」とするような大学連携のアプローチの考えは。

答 高山が天文学のメッカとなるよう積極的にアピールするとともに、京都大学と今後どのような連携ができるか前向きに探っていきたい。

多死社会への対応

問 「終活」の取り組みが注目されているが、エンディングノートという形で終活支援に取り組む考えはないか。

答 関心は高まっており、元気なうちに終活に取り組んでいただくことは大切なことで、市民

向け講座などの中にエンディングノートの内容を加えるなどして支援を図りたい。

オーバーツーリズム への対応

問 中橋周辺の混雑や信号の無視、ごみのポイ捨て、団体客の大声など、急増する観光客による生活環境への影響が少なからずある中で、行政としての対応を考える時機にきていると考えるが。

答 古い町並みに観光客が集中している現状をふまえ、広い地域の魅力的な資源を活かした周遊型・滞在型の観光形態を促し、リピーターの獲得や地域活性化を図る必要があると考える。